

暮らしに 重点を置く 次の10年

次の10年においても、「小さくてキラリと輝くまち」であり続けられるように基本理念は堅持しつつ、にぎわいの維持・向上を目指すとともに、一人ひとりの暮らしに一層の重点を置き、誰もが快適で利便性の高い生活を送ることができるまちを目指します。計画期間中の令和4（2022）年には町制50周年の節目を迎えます。これまでの50年を振り返りつつ、次の50年も豊山町が輝き続けられるよう、これまでの取組を一層、発展・深化させる10年とするため、第5次総合計画を定めます。

一人ひとりが輝く

まちの将来像

まちづくりの目標

まちづくり重点目標と指標を定めました。

1 「人」がキラリと輝くまち

町民も来訪者も、本町で過ごすすべての人が、様々なふれあいや交流を通じて、それぞれの個性が輝きいきいきと過ごすことができ、次代を担う子どもたちの笑顔がいつも輝いているまちを目指します。

目標指標

- 75%の住民が、町政に関心を持つ
- 67%（3分の2）の住民が、まちづくり活動などへの参加意向を持つ



2 「暮らし」がキラリと輝くまち

やすらぎを感じ、穏やかに過ごすことのできる環境を残しつつ、誰もが快適で利便性の高い暮らしを送ることのできるまちを目指します。

目標指標

- 90%の住民が、豊山町を住みやすいと考える。
- 75%の住民が、豊山町に住み続けたいと考える。



3 「産業」がキラリと輝くまち

県営名古屋空港や名古屋市中央卸売市場北部市場、航空関連企業などを中心として魅力ある産業が集積し、経済活動が活発に行われ、安定した持続可能な町財政が確立されているまちを目指します。

目標指標

- 70%の町民が、町の産業に関する施策を評価する。



「アーバンビレッジ」とは

都市の中に、ビレッジ（村、集落）の視点を取り込み、生活に密着した街区をつくり、環境への配慮、職住近接などにより、さまざまな人が共生する持続可能なコミュニティを形成する都市づくりの考え方を指し、1992年にイギリスで示されたものです。

本計画では、この考え方を参考にしつつ、新たな意味を付加し、アーバン（都市的）な要素と、ビレッジ（村、集落）の要素が、適度に共存・融合した、豊かな暮らしを支えるまちの姿を「アーバンビレッジ」と表現しています。

パブリックコメント

「第5次総合計画基本構想案」について広く皆様からご意見をお聞きするパブリックコメントを実施します。

▼意見の提出方法 お名前・ご住所をご記入の上、次によりご提出ください。様式は自由です。

- ・役場3階11番窓口総務課
- ・郵送 〒480・0292 所在地記
- 載不要 豊山町役場 総務課 企画・情報係宛て

地域懇談会

「第5次総合計画基本構想案」のパブリックコメントを実施するにあたり、小学校区ごとに構想案をご説明する地域懇談会を開催します。お住まいの小学校区にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。事前の申込みは不要です。

▼とき・ところ

豊山小学校区地域懇談会

- | | | |
|----------|--------|----------------|
| 9月17日（火） | 午後7時から | 総合福祉センターしいの木 |
| 9月19日（木） | 午後7時から | 総合福祉センター北館さざんか |
| 9月20日（金） | 午後7時から | 志水小学校区地域懇談会 |
| 9月20日（金） | 午後7時から | 志水小学校多目的室 |

▼特集に関する問合せ

総務課企画・情報係

☎ 28・0913